

公開講座

玄侑宗久講演会

自愛の作法

よく手紙の末尾などに、「ご自愛ください」などと書く。相手への立派な気遣いだと思うが、はたして自愛の仕方はどうするのか、知っている人はどれほどいるのだろうか。ここでは、禅や老荘思想、あるいは貝原益軒の考え方なども参考にしながら、本当の自愛の仕方について考えてみたい。



げんゆう・そうきゅう 1956年、福島県三春町生まれ。慶應義塾大学中国文学科卒。臨済宗妙心寺派福聚寺第35世住職。2001年『中陰の花』で第125回芥川賞受賞。2007年、柳澤桂子氏との往復書簡「般若心経 いのちの対話」で第68回文藝春秋読者賞受賞。2014年3月、『光の山』にて平成25年度(第64回)芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。最新刊に『竹林精舎』(朝日新聞出版)。京都・花園大学文学部客員教授、新潟薬科大学客員教授を兼務。

- ◆日時 3月29日(木) 14:00~15:30(開場 13:30)
- ◆受講料 会員 3,132円 一般 3,456円
- ◆会場 三井ガーデンホテル千葉3階「飛鳥の間」



朝日カルチャーセンター | 千葉
朝日JTB・交流文化塾

〒260-0013 千葉市中央区中央 1-11-1
三井ガーデンホテル千葉5階
TEL043・227・0131
<https://www.asahiculture.jp/chiba>